

平成18年3月24日
(財)岐阜県産業経済振興センター

「岐阜県陶磁器産業の中国市場展開に関する調査研究」結果について

調査研究の趣旨

目的：岐阜県陶磁器産業が中国市場に進出するため
手法：中国の陶磁器需給状況、現地メーカーの状況、流通状況等、
販売事業の展開に必要な基本情報を収集、分析

調査研究結果のポイント

<中国の市場性>

- ・ 中国の日用陶磁器の輸入は、数量ベースでは国内総生産点数の1%未満に過ぎないが、金額ベースでは98年以降順調に伸びており、**輸入陶磁器の高級化**がおきている。
- ・ 日本製食器の購買経験は約半数以上とかなり高い。また、**日本製陶磁器の産地の認知率も20~30%あり、富裕層・高所得者層の中である程度知られている。**

<市場展開への戦略>

- ・ 上海市では既に高級陶磁器市場が存在するが、今後も経済発展に伴い富裕層・高所得者層が増加していくことを考えると、更なる市場拡大が想定されることから、**上海市を目的市場に設定する**。また、上海は流行の発信地であり、**上海でブームになれば、他の直轄市や地方の大都市への消費の波及**が想定される。
- ・ ターゲットとするチャネルは、個人消費用では富裕層・高所得者層を客層とした中・高級デパート、業務用では日本料理店（ホテルの日本食部門含む）。また、**企業向けのギフト需要も魅力的な市場**である。
- ・ 和風のイメージを持った製品「和食器」を中心とするほうが、差別化・消費者アピールが行いやすいが、**渋い色合いや陶器の素朴な手触り・厚さなどは、現状では受け入れられにくい**。現状の消費者のニーズに合わせるならば、**華やかな色・柄の磁器製の和食器が有望**。
- ・ 高級かつ和風の陶磁器については、現時点では確立された市場が無い場合、消費を喚起するためには、**全く新しい市場【和食器マーケット】を開拓する必要がある**。

担当者コメント

- ・ 全く新しい市場の創生のためには、**地道なプロモーションの積み重ねが必要となる**。高級和食器市場を形成するためには、**器と料理の調和を大切に和食文化を根付かせる普及活動**を行うと同時に、**質の悪い廉価品が流出することを水際で防ぐ**必要があり、岐阜県内外の陶磁器産業による一致団結した取り組みが必要となる。

【問い合わせ先】

(財)岐阜県産業経済振興センター 調査研究部 高橋浩二

TEL：058-277-1085 FAX：058-277-1095 E-mail：k-takahashi@gpc.pref.gifu.jp